

# 甲府市議会だより

第 131 号

平成13年11月 1 日

編集・発行

甲府市議会だより

編集委員会

電話 (235) 7054

甲府市議会事務局



9 月定例会、総務委員会 審査風景

## 決算審査特別委員会を設置

9 月定例会

## 市長提案15案件を可決・同意

九月定例会は九月十二日に招集され、会期を二十一日までの十日間と定め、市長から提案された補正予算、条例の制定及び一部改正、市道路線の認定、監査委員、公平委員会委員の選任等十五議案について審議しました。

九月十七日、十八日及び十九日の三日間は、提出議案に対する質疑及び市政一般質問が行われ、各所属から九名の議員が代表質問・一般質問にわかれて市の考え方をたどりました。

なお、十七日には本会議に先立ち、アメリカ合衆国で起きた、同時多発テロ事件による多くの犠牲者に対し、黙祷を捧げました。

二十日に行われた各常任委員会では、本会議で付託された議案及び請願・陳情について慎重に審査しました。

最終日の本会議では、各常任委員長から委員会審査の経過と結果が報告され、採決の結果、議案はいずれも当局原案のとおり可決されました。

また、平成十二年度甲府市各会計別決算並びに各企業会計別決算の認定については、決算審査特別委員会を設置し、閉会中継続審査とすることを決め、閉会となりました。

主な内容・ページ

九月定例会要旨	1
九月定例会の動き／審議日程	2
市政質問／質問要旨一覧	3
市政質問	4・5
人事案件／議案審議結果	6
意見書／決算審査特別委員会	7
請願・陳情審査結果	7
議会関係各室内	8

# 工事請負契約、幼児教育センター条例案等を可決

九月定例会には、補正予算、条例の制定及び一部改正、市道路線の認定、市政功労表彰者の決定、公平委員会委員、監査委員の選任等の議案が提案され、審議の結果、原案どおり可決しました。

また、平成十二年度一般会計及び企業会計の決算については、決算審査特別委員会を設置し、閉会中継続審査とすることになりました。

## 九月十二日(水)

定例会初日は諸報告を行い、会議録署名議員の指名及び会期を決定した後、請願の取り下げを承認しました。

次に、市長より提出議案全部に対する提案理由の説明を受け、この日の日程を終了しました。

## 九月十七日(月)

議案調査と休日のため四日間休会後、再開した本会議は、日本共産党の代表質問から始まり、地元中小業者の仕事の増大、地方交付税の削減見直し、六十五歳からの医療費助成制度、市民健診、学童保育等について市の考えをただしました。

次に新政クラブの代表質問が行われ、財政健全化策と中長期計画、上下水道事業の一体化、民間委託合併に関する県の対応、特別市の権限と開発制度等について市の見解を求めました。

続いて政友クラブの代表質問が

行われ、個性と魅力のあるまちづくり、中核市実現へ向けた合併への取組み、新庁舎建設、事業評価制度、自主防災組織の育成強化と訓練等について市の考えをただしました。

## 九月十八日(火)

質問第二日目は始めに日新クラブの代表質問が行われ、国の構造改革と本市への影響、市町村合併の実現、人口増加対策、農業振興策、水道法の改正に伴う民間委託への考え方等について市の見解を求めました。

代表質問の最後は公明党が行い、平成十四年度の予算対応及び税財源確保、行政サービスの充実、連帯保証人の撤廃、小中高の教育環境の改善・整備、三十人学級の実現等について市の考えをただしました。

この日の三人目からは一般質問に移り、新政クラブの議員が市税滞納者に対する専門的徴収体制、

電子入札制度の導入、外部監査制度の導入、教育基本法の見直しまでに至った経緯に対する所見、廃棄物処理センター等について市の見解を求めました。

## 九月十九日(水)

質問最終日は、新政クラブ二人目の一般質問が行われ、環境問題、環境教育、インフラのメンテナンス、新都市拠点整備事業、土地区画整理事業及び土地の有効活用等について市の考えをただしました。

次に政友クラブの一般質問が行われ、新甲府市総合計画の見直し、地区対話集会の運営方法、武田氏館跡の整備と町名保存、北部山岳地域の活性化、帯那山高原牧場の今後等について市に見解を求めました。

質問の最後は社会民主党の一般質問が行われ、企業倒産の実態及び離職者対策、不良債権の最終処理の影響と見直し、同和対策、自治会等への補助金等の支出、外郭団体への関与等について市の考えをただしました。なお、関連質問で最終処分場問題等が出ました。

市長から追加提案された市政功労者表彰の決定、教育委員会委員の任命、公平委員会委員、監査委員等の選任、人権擁護委員候補者の推薦について提案理由の説明を受け、議案、請願はそれぞれ所管の常任委員会に付託されました。

## 九月二十日(木)

この日は本会議は休会で、各常任委員会が開催されました。

## 九月二十一日(金)

この日は、各常任委員長から委員会審査の経過と結果についての報告がありました。

総務委員会では、市税条例の一部改正について、株式等の譲渡所得に係る課税の特例規定の見直しを行うものであるが、高額所得者への優遇措置であり、税の公平性、中立性を著しく損なうもので反対との意見がありました。民生文教委員会では、今後の介護保険事業の財政見直しをただしたのに対し、高齢者に対する利用意向調査も行われるので、これらの状況を見極めたうえで財政見直しを立て、的確な事業推進を図っていくとの答弁がありました。出生前小児保健指導モデル事業については、対象となるすべての妊婦がどこの病院でも利用できるようにしてほしい、障害者ケアマネジメント事業については、身体障害者だけでなく知的障害者にも積極的に取り組んでほしいとの意見がありました。経済建設委員会では、厚生労働省の地方機関が臨時的雇用を促進し、雇用対策を図るよう要望する意見がありました。また、国への意見書提出に関する請願を採択しました。環境水道委員会では、リサイクル推進のため、製造者に

対し負担を求めるとともに、再生品の優先利用へ向けて販路の確保を図る等、リサイクルシステム全体を見直すべく、全国の自治体が声を挙げる必要があるとの意見がありました。付託された案件は、いずれも委員長報告のとおり可決しました。追加提案された、平成十二年度甲府市各会計別決算、甲府市各企業会計別決算の認定については、委員十四名で構成する決算審査特別委員会を設置し、付託のうえ、閉会中の継続審査とすることと決定し、九月定例会は閉会となりました。

## 九月定例会

### 審議日程

- 9月12日(水) 開会、提案理由の説明
- 13日(木) 議案調査のため
- 14日(金) 休会
- 15日(土) 休会
- 16日(日) 休会
- 17日(月) 本会議、質疑及び市政一般質問、各常任委員会付託
- 18日(火) 各常任委員会付託
- 19日(水) 各常任委員会付託
- 20日(木) 各常任委員会
- 21日(金) 本会議、各常任委員長報告、閉会

# 市政 質問



(要旨掲載)

## 小中学校への扇風機の設置は (日本共産党)

【問】今年は五月から気温が上昇し、七月中旬では日中の最高気温が三十九度を超え夏休み前の教室は蒸し風呂のようだったとの事です。今や公共施設では空調設備は一般的であり、学校においても従来のままでは児童生徒の健康を保持する事は難しくなっています。特に低学年では体温調整が難しい子供も多く、教職員は苦慮しています。

文部科学省が示している教室の環境基準では「夏季には三十度以下であることが望ましい。また、もっとも望ましい温度は二十五から二十八度である」「相対湿度は三十から八十%である事が望ましい」としています。この基準を満たしている教室はほとんど無いのではないかと思います。

ではないかと思えます。教職員からも、子供からもそして父母からも要望が出されている教室の暑さ対策について、せめて扇風機の設置を行うべきです。県内でも教室への扇風機設置が始まっています。

来年度に備えすぐに設置に取りかかるよう求めますが、見解を示してください。

【答】小中学校への扇風機設置については、学校ごとの状況や実態を調査中です。

この調査結果や教育施設全体の整備計画などを勘案しながら、設置に向け検討を行って行きます。

## 職員数の減員計画は (新政クラブ)

【問】平成十四年度までに本市の職員数を減員して行くという考え方の中で、具体的にどのように進めて行くのか、また、長期的には本市の職員数をどのように考えて

いるのかお尋ねします。個人的な見解ですが、一割程度職員数の減員をしなければ、市民に対し本気で行政改革を行っている姿を示すことにはならないと思います。ちなみに私なりに計算してみますと、職員が一人減ると年間約一千万円、十人減れば一億円、百人減れば十億円の経費が削減できます。

年間十億円というお金を作り出すことは、容易なことではなく、このお金があったら市民生活に關連する様々な事業にまわせるのではないかと考えますと、これまでに上に積極的な減員政策が必要であると思えます。

そこで、改めて職員数の平成十四年度までの減員計画の現状と今後の計画を示してください。

【答】職員数については、これまでで事務事業の見直しや組織の改編等を積極的に行う中で、適正化に努めており、平成六年度からの自主的行政改革において、介護保険や地方分権等にも対応しながら、病院を除き七十四名を削減し、これを継承し新行政改革においても平成十二年度から十四年度までの三年間に五十名の減員を目標として既に四十六名の減員を行い、計画の最終年度までには、五十五名程度の減員を予定しています。

また、平成十五年度以降については、引き続き事務事業の積極的

### 平成13年 9 月定例会質問要旨

氏名	所属	質問の要旨
加藤 裕	日本共産党 代表質問	雇用対策について 中小企業者に対する金融対策について 小中学校への扇風機の設置について
上田 英文	新政クラブ 代表質問	小中学校の適正規模化と今後の進め方について 職員数の減員計画について ごみの広域行政について
斉藤 憲一	政友クラブ 代表質問	環境問題について 地域防災計画の見直しについて 表彰規程の見直しについて
金丸 三郎	日新クラブ 代表質問	福祉行政一元化への提言について 地場産業の振興策について 文化政策について
秋山 雅司	公明党 代表質問	国民年金相談窓口の継続について 公営住宅の借り上げについて 出産資金貸付制度等について
福永 稔	新政クラブ 一般質問	補助金の見直しについて 教科書採択経過の情報公開について 青少年に関する地区諸団体の一本化について
野中 二二	新政クラブ 一般質問	環境問題について インフラのメンテナンスについて 新都市拠点整備事業について
谷川 義孝	政友クラブ 一般質問	新甲府市総合計画の見直しについて 武田氏館跡の整備と町名保存について 北部山岳地域の活性化について
中込 孝文	社会民主党 一般質問	雇用対策について 土地開発公社について エコブランの経過と今後の方向について

な見直しを図る中で、更なる定員管理の適正化に向け、新甲府市総合計画後期計画見直しに合わせ、今年度中に新たな定数計画を策定して行きたいと考えています。

### 環境問題について

#### (政友クラブ)

【問】ごみ問題は、人間の生活環境を脅かすという点で現在の環境問題の中で最も重要な問題であります。一地方自治体だけで処理出来ない所まで来ており、廃棄物を適正、安全且つ円滑に処理して行くための新たな社会システム創りが求められています。

最近、ダイオキシン類がごみ焼却施設から多く排出されているとの指摘があり、社会問題化しており、広域的な処理体制の必要性が叫ばれ、新しい用地の選定や施設整備等の対応が、県内各地において急務となっています。

そこで、本市の焼却場に対して石和町の他、どこの自治体が処分等の依頼をしてきたのか、最終処分場用地確保がなされていないか、どのように対応して行くのか、お聞かせください。

【答】甲府市では、東八代郡七町村が加盟し、操業している「青木が原ごみ処理組合」の大和田清掃センターから国の環境基準を超える濃度のダイオキシンが発生した

ため、二ヶ月間の緊急措置として同組合のごみを受入れた経過があります。

ダイオキシンの排出規制が強化される平成十四年十二月以降は、大和田清掃センターにおいて、ごみ処理が不可能となるため、「甲府市及び東八代郡八町村ごみ処理研究協議会」を設置し、将来のごみ処理のあり方について、本市ごみ処理施設の移転問題や東八代郡七町村の次期ごみ処理施設建設地等について、検討しています。

また、石和町については用地確保と合わせ、合併問題についても協議することとなっておりますが、現在、具体的な方向が示されていません。今後、二点について明確な回答がない場合は、期限に係わりなくごみ処理の事務委託に関する規約の改正等についても検討して行きます。

### 文化政策について

#### (日新クラブ)

【問】文化は人の精神的活動によって創り出されるものであります。文化活動は自治体間での格差が非常にあります。本市においても総合市民会館が十一年前に出来

ました。総合市民会館は市民文化の創造とふれあい、連帯の広場と位置付けられ文化振興の拠点であり、市民の芸術文化活動の振興及

び生涯学習に対する市民意識の醸成を図り、地域の活性化と市民生活に潤いの心と豊かさをもたらすためのものと考えています。しかし、最盛時から比べると五十分の一の予算になってしまい、単なる貸館としての機能しかないような気がして残念でなりません。

文化を通してのまちづくり手段として、戦略的な意味付けや位置付け、総合市民会館にビジョンを持たせるべきだと考えます。また、専門的な人材活用や民間委託も視野に入れた運営があっても良いと思いますが見解を示してください。

【答】物の豊かさから心の豊かさ求められている今日、文化・芸術に対する市民の関心は高く、内容も多様化しています。

新甲府市総合計画では、文化・教育の振興、歴史を伝え新しい文化が生まれるまちづくりを基本目標に掲げ、文化・芸術の振興を図っています。文化政策を推進する上で重要なことは、多くの市民の

参画の下、社会の状況に柔軟に対応でき得る方策を市民と行政が一体となって考えて行くシステムを構築する事であり、市民が文化に対し積極的に関わりをもつという意識の改革を図る事です。

各種の設備が特に整った芸術ホールは、本市における文化・芸術活動の殿堂に位置付けられる施設です。芸術ホール及び山の都アリ

### 出産費資金貸付制度等について

#### (公明党)

一ナを含めた総合市民会館の運営については、市民を中心とする運営委員会において、運営方針等の協議、検討を行っており、文化創造、交流、まちづくり、諸施策との整合性といった観点から、今後とも一層の改善と見直しを行い、文化都市甲府の実現に努めます。

【問】出産育児一時金の八十%に当たる、二十四万円を限度に出産前にも利用できる貸付制度の創設について、昨年十二月に国から指導があった事と承知しています。積極的

に調査、研究を進めて頂き平成十四年度から実施するよう強く求めますが見解を示してください。

次に出産育児一時金の委任払い制度の創設についてです。出産後約一週間で退院する現状で、退院前に育児一時金を受け取る事は不可能ではありませんが、市役所に何回も行かなければならず、結局退院時に出産費用の全額を用意する必要があります。委任払い制度の導入で退院の際、病院の窓口で申請用紙に記入し、出産費用と差額を添えて提出するだけで済みます。早期実現するよう求めますが、考えをお聞かせください。

【答】出産費資金貸付事業の実施については、国の通知では各保険者が独自で実施する場合のほか、高額療養費貸付事業に従い、保険者の共同事業として国民健康保険団体連合会が実施主体となつて行う事も想定しています。

県内では本年六月、県等が市町村保険者を対象として貸付事業に係る意向調査を行い、大多数の市町村が共同事業としての実施を望んでいることがわかりました。本市では保険者の共同事業としての実施について、県及び国民健康保険団体連合会へ働きかけを行い、市町村保険者の代表として実施に向けた協議検討を進めています。

本市の対応としては、貸付事業の開始時期を平成十四年度からの考え方に立って、この協議を精力的に進めていますが、独自で実施する事も想定し、条例等の制定を始め諸課題の調査研究を進めています。なお、出産育児一時金委任払い制度については、先進各都市の事例等を調査研究して行きます。

### 補助金の見直しは

#### (新政クラブ)

【問】聖域なき行財政改革への取り組みの一つとして、法的助成金以外の政策的助成金の全廃を検討すべきであると思えます。構造改革には痛みが伴うものです。市長並

びに市の行政執行の上で政策的に助成している各種団体等への助成金は、ともすれば前年踏襲という悪しき習慣が多いのではないかと思われます。

【答】 被助成団体とも良く話し合っただけで、一度全廃して必要なものは復活させる事は出来ないのか、考えをお聞かせください。

【答】 厳しい財政状況を踏まえ、計画的な財政健全化策として、新行政改革において、奨励的な補助金の見直しが行われております。本市が交付する各種団体等への補助金については、現行の社会情勢に添った見直しや投資効果等について再検討を行い、国の法令や県・市の条例等による制度的な補助金を除く奨励的な補助金については、廃止・統合を明確にする等十二年度から十四年度までの三カ年対比で三十三年度の削減目標を掲げ、対応を図っております。

【問】 十一年度ベースでの市単独の奨励的な補助金は、約九億六千万円余りです。この三カ年で二億八千万円余りが削減目標となり、平成十二年度決算額では、約一億二千万円の削減額となります。引き続き目標達成に向け、補助金の交付内容の見直しや適正な執行に努めていきます。

### インフラのメンテナンスについて (新政クラブ)

【問】 行政財産のメンテナンスをかけるという事が、非常に大きな問題となつてきております。人々が豊かでゆとりある生活を営むためには道路、公園といった社会資本を整備、充実させなければならず、一方、蓄積された都市基盤施設の老朽化が進み、如何に適切な維持更新して行くのか、どの都市もいずれ直面する問題です。

【問】 市では各部署ごとに社会資本台帳を持ち、随時補修工事等を行っておりますが、減価償却の概念がない単年度完結型の行政では、一旦整備した後のメンテナンス等は民間企業に比べ後れを取つてしまいます。継続してメンテナンスを行う事になれば、しっかりと把握をして行く必要があります。

【答】 このインフラ・メンテナンスについてどのように対処するのか、考えをお聞かせください。  
【答】 市民が安全で快適な質の高い生活を送る上で、道路、上下水道等の都市基盤施設の整備が大変重要な要素であることは申し上げるまでもありません。しかし、一方では、基盤整備の進行に伴い、施設の維持管理のあり方は大きな

行政課題となつてきており、行政財産のメンテナンスは充分行われなければならない。現在、本市では各施設の目的、用途に応じ、所管部で必要な維持・管理を行っておりますが、今後、メンテナンスのための事務量、経費共、益々増大する事が予測されますので、市民サービス、行政責任等勘案する中で、中長期的なメンテナンス費用の把握に努め財産管理の徹底を図るとともに効率的、効果的な維持管理の方法について検討していきたいと考えています。

### 新甲府市総合計画の見直しについて (政友クラブ)

【問】 新甲府市総合計画は平成九年、それまでの第三次甲府市総合計画がバブル経済の崩壊による財政状況の変動のため、計画が実態と遊離したとして、新たに策定し直したものです。現在の計画では、計画期間終了時であります平成十八年度と計画の半ばの今年度を見ますと、予算額と市税はいずれも四十程度程度の達成状況となっております。今次の新甲府市総合計画の事業も中止、廃止等を含めた大幅な見直しが必要かと思えます。

【問】 新甲府市総合計画は平成九年、それまでの第三次甲府市総合計画がバブル経済の崩壊による財政状況の変動のため、計画が実態と遊離したとして、新たに策定し直したものです。現在の計画では、計画期間終了時であります平成十八年度と計画の半ばの今年度を見ますと、予算額と市税はいずれも四十程度程度の達成状況となっております。今次の新甲府市総合計画の事業も中止、廃止等を含めた大幅な見直しが必要かと思えます。

【問】 新甲府市総合計画は平成九年、それまでの第三次甲府市総合計画がバブル経済の崩壊による財政状況の変動のため、計画が実態と遊離したとして、新たに策定し直したものです。現在の計画では、計画期間終了時であります平成十八年度と計画の半ばの今年度を見ますと、予算額と市税はいずれも四十程度程度の達成状況となっております。今次の新甲府市総合計画の事業も中止、廃止等を含めた大幅な見直しが必要かと思えます。

【問】 新甲府市総合計画は、市政運営の根幹となるまちづくりの目標を明らかにし、これを達成するための基本方針を示すものです。本年度が基本計画の見直しの年度に当たる事から、前期五カ年の事業を検証し、後期基本計画の施策と事業を見直すもので、新たに重要な視点として、六つの取組みを位置付け基本目標別に見直しを行っております。

【問】 財政見直しについては、客観的経済情勢や収支バランス、財政構造を考慮し中期的展望に立った財政見直しを行ってまいります。また、地区対話集会での政策提言等や市民アンケートの結果を見直しに反映させてまいります。事業選択については、事業の持つ地域性や緊急性、事業評価制度を参考に総合的に整理検討を行い、徹底した見直しを行ってまいります。

### エコプランの経過と今後の方向は (社会民主党)

【問】 エコプランは多くの市民の参画の中で「自らのまちは自らの手で作る」をキーワードに、平成六年に策定されました。しか

し、時間の経過とともに事業に対する関心が色褪せた感があり、市民の中に定着しているとは言い難い状況にあります。これは、エコプランの理念と具体的な事業との遊離、各地区エコプラン推進協議会と市民組織との関係等、幾つかの要因が考えられます。

【問】 エコプランは個性ある地域づくりを推進するため、それぞれの地域がもつ将来像に向け、市民と行政が共同してまちづくりを行おうとするもので、二年以上に及ぶ月日と大勢の市民の参画により策定されたものです。今日までの事業展開は、各地区エコプラン推進協議会が中心となり、地域ごとに特色ある事業も実施され、地域の連帯感やコミュニティの醸成が確実に前進してきたものと認識しております。しかし、計画策定から七年が経過し組織・運営面等、見直すべき点もあり、現在、エコプラン推進協議会で見直し作業に取組んで頂いております。

【問】 エコプランは多くの市民の参画の中で「自らのまちは自らの手で作る」をキーワードに、平成六年に策定されました。しかし、時間の経過とともに事業に対する関心が色褪せた感があり、市民の中に定着しているとは言い難い状況にあります。これは、エコプランの理念と具体的な事業との遊離、各地区エコプラン推進協議会と市民組織との関係等、幾つかの要因が考えられます。

人事案件

本定例会に、教育委員会委員の任命、公平委員会委員、監査委員の選任並びに固定資産評価審査委員の選任及び人権擁護委員候補者の推薦についての議案が提出され、いずれも全員異議なく同意されました。

教育委員会委員 角田 智重

公平委員会委員 赤尾 博志

監査委員 中村 保長

固定資産評価審査委員会委員

鈴木 和雄

人権擁護委員 跡部三沙子

市政功労表彰者

三氏を可決

地方自治の振興、本市の産業の振興並びに市政の発展と住民福祉の向上に尽力された功績が多々であることから、次の方々をそれぞれ市政功労表彰者として決定する議案が提出され、全員異議なく可決されました。

保坂 昌新 齊藤 為則

浅川 紫朗

「声の市議会だより」をご利用下さい

目の不自由な方のために、紙面全文を吹き込んだカセットテープをお貸ししています。議会事務局総務課(二三七 一一六一 内線四〇〇七)までご連絡ください。

平成13年9月甲府市議会定例会議案審議結果

議案番号	件名	付託委員会	議決月日	結果
議案第64号	平成13年度甲府市一般会計補正予算(第2号)	分割	9月21日	原案可決
議案第65号	平成13年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	民生文教	9月21日	原案可決
議案第66号	平成13年度甲府市土地区画整理事業用地先行取得事業特別会計補正予算(第1号)	経済建設	9月21日	原案可決
議案第67号	平成13年度甲府市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	民生文教	9月21日	原案可決
議案第68号	甲府市幼児教育センター条例制定について	民生文教	9月21日	原案可決
議案第69号	甲府市市税条例の一部を改正する条例制定について	総務	9月21日	原案可決
議案第70号	市道路線の認定について(宝2号線)	経済建設	9月21日	原案可決
議案第71号	市道路線の認定について(塩部第二団地西通り線)	経済建設	9月21日	原案可決
議案第72号	工事請負契約の締結について	民生文教	9月21日	原案可決
議案第73号	市政功労表彰の決定について	総務	9月21日	原案可決
議案第74号	教育委員会委員の任命について	総務	9月21日	同意
議案第75号	公平委員会委員の選任について	総務	9月21日	同意
議案第76号	監査委員の選任について	総務	9月21日	同意
議案第77号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	総務	9月21日	同意
議案第78号	平成12年度甲府市各会計別決算の認定について	決算審査特別		閉会中継続審査
議案第79号	平成12年度甲府市各企業会計別決算の認定について	決算審査特別		閉会中継続審査
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	総務	9月21日	諮問のとおりに決定
甲議第10号	「WTO(世界貿易機関)農業交渉」に関する意見書提出について	省略	9月21日	原案可決
甲議第11号	深刻な雇用・失業情勢における労働行政の充実を図る意見書提出について	省略	9月21日	原案可決

# 意見書



関係機関へ提出  
(要旨掲載)

## WTO(世界貿易機関)

### 農業交渉に関する意見書

本年十一月にカタルドで開かれる第四回WTO閣僚会議において、WTO体制に対し自由貿易がすべて善だと言う考え方を改めさせ、各国の基礎的食料の重要性、農業の多面的機能や環境保全の重要性を盛り込ませるためにも、「食料・農業・農村基本法」の趣旨を十分尊重し、日本提案をもって確固たる交渉姿勢を貫くよう、次の事項について、強く要望する。

- 一 交渉事項及びその内容については、幅広い国民各層の声を反映し、国民の支持と理解が得られるよう国民重視のものとする。また、交渉経過等の情報開示に最大限努力し、透明性ある交渉を実現すること。
- 二 農産物貿易ルールについては、輸出国と輸入国間の権利・義務の均衡を図り、輸入国及び輸出国の農業が共存発展できる公正で公平な新しい貿易ルールを確立すること。
- 三 非貿易的関心事項を十分に主張し、なかでもわが国における

国土及び自然環境の保全・水資源の涵養、景観維持といった農業の持つ多面的かつ公益的機能の役割発揮を高く評価して、一定の保護と助成策を新しい貿易ルールのなかに具体的に反映させていくこと。

四 食料安全保障の実現に向けた交渉の場においては、各国が国内農業生産の増大を食料供給の基本に位置づけることが食料安全保証の確立には不可欠であること、さらには国内農業生産は単なる農産物の生産という機能のみならず食料不足等の事態に対する重要なリスクヘッジ機能を果たしていることを十分に考慮すること。

五 新たな課題である遺伝子組み換え食品の取扱いについては、さまざまな視点からの現状分析問題点の洗い出し、現行各協定との関係など、多角的に検討する適切な場が設けられるよう、交渉の場においても主張していくこと。

### 深刻な雇用・失業情勢における労働行政の充実を図る意見書

今日の雇用情勢を取り巻く厳しい環境下にあつて、ついに本年七月の全国の完全失業率が過去最高となる五・〇パーセントに達し、雇用情勢は悪化の一途である。山

梨県においても同様の状況にあり、全国トップの有効求人倍率を保っているものの、ついに一・〇倍を割り込み〇・九四倍となる中で、ハローワークには職を求める人々が急増しており、求人情報検索システムの導入がされてはいるものの窓口の混雑、長時間待ち等は恒常的となっている。

「緊急雇用創出特別奨励金」を支給することとしたが、これらの対応にあつてもハローワークをはじめ労働行政の体制が、行政の減量化・スリム化の流れの中で、十分なものとはなっていない状況にある。

「緊急雇用創出特別奨励金」を支給することとしたが、これらの対応にあつてもハローワークをはじめ労働行政の体制が、行政の減量化・スリム化の流れの中で、十分なものとはなっていない状況にある。

## 決算審査特別委員会を設置



の継続審査とすることとなりました。

委員会の審査結果は、十二月定例会で報告される予定です。

本定例会に「平成十二年度甲府市各会計別決算の認定について」及び「平成十二年度甲府市各企業会計別決算の認定について」の議案が提出されました。

議会では、九月二十一日の本会議で、これを審査するための「決算審査特別委員会」の設置を決め、議案は閉会中

- |      |       |    |       |       |
|------|-------|----|-------|-------|
| 委員長  | 堀内 征治 | 委員 | 依田 敏夫 | 末木 隆義 |
| 副委員長 | 野中 一二 | 委員 | 桜井 正富 | 山村 雄二 |
|      |       | 委員 | 内藤 幸男 | 谷川 義孝 |
|      |       | 委員 | 山村 勝一 | 宮川 章司 |
|      |       | 委員 | 金丸 三郎 | 秋山 雅司 |
|      |       | 委員 | 小越 智子 | 清水 節子 |

## 請願・陳情審査結果

### 採択

- ・WTO(世界貿易機関)農業交渉に関する請願
- ・深刻な雇用・失業情勢における労働行政の充実を図る意見書の送付を求める請願
- ・採択
- ・深刻な雇用・失業情勢に対応した労働行政の充実・強化をはかる旨の意見書採択を求める請願書
- ・閉会中継続審査
- ・石和町における最終処分用地の早期確保を求める請願書
- ・夏休みの開設などの学童保育(留守家庭児童会)の改善を求める請願
- ・「無年金障害者の救済に関する意見書」に関する請願
- ・甲府市における教科書採択の適正化に関する請願
- ・取り下げ
- ・抜本的な地球温暖化防止対策の推進と京都議定書の早期発効に関する国への意見書提出に関する請願書

## 本会議を傍聴してみませんか

本会議では、皆さんの代表である議員の活動や審議状況等を直接傍聴することができます。次の定例会は、十二月の予定です。

# 議会関係各室案内

電話 (055) 237 - 1161

## 《市役所本庁舎一号館二階》

議会関係各室の案内図です。  
 議員の控室は本庁舎一号館二階にあります。  
 また、本庁舎一号館入口右側に議員登庁表示板が設けてありますので、議員に面談などご利用の方は表示板をご確認の上、議会事務局までお申し出ください。

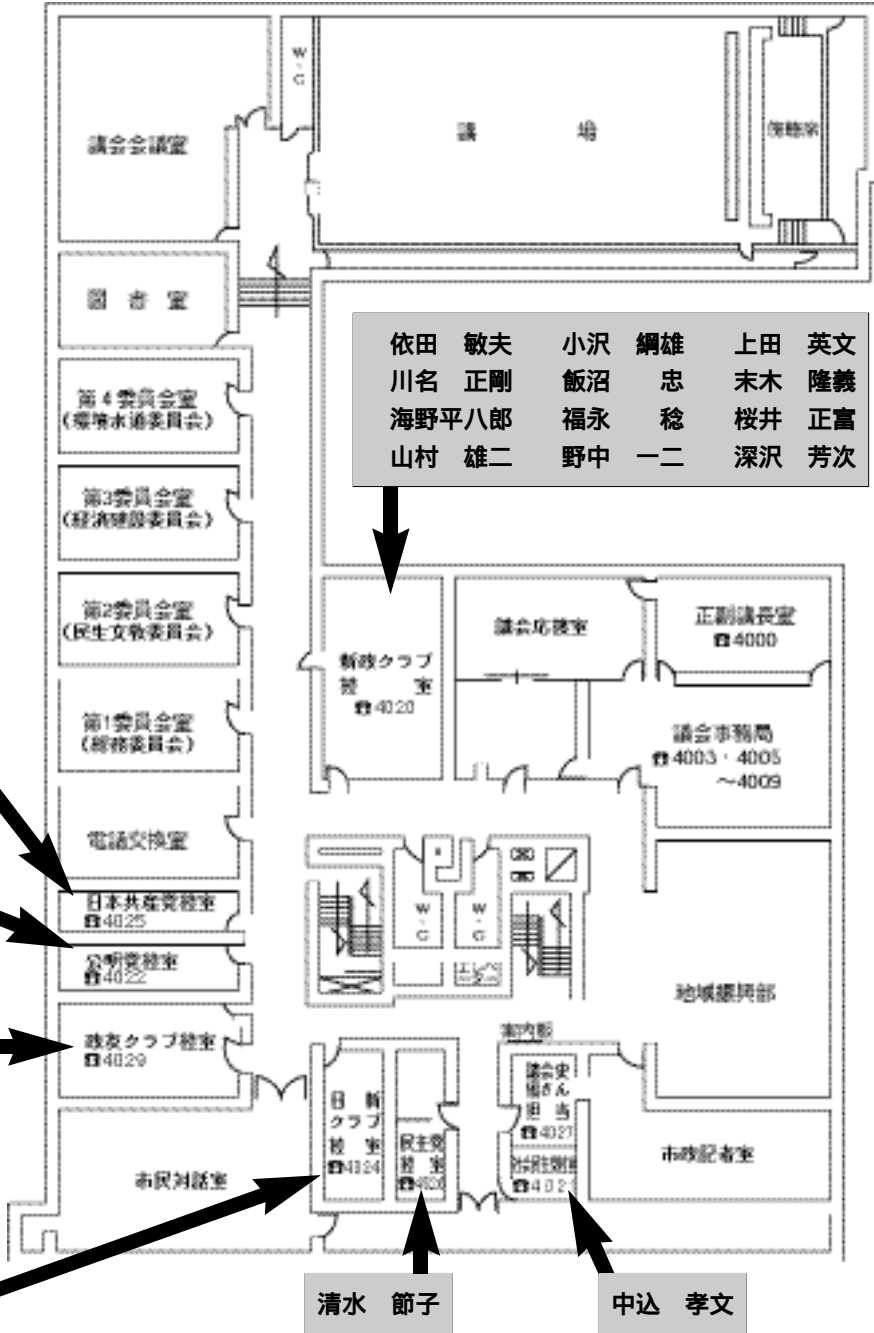
( 会派代表者 )

加藤 裕	石原 剛
小越 智子	

大村幾久夫	堀内 征治
秋山 雅司	中山 善雄

森沢 幸夫	内藤 幸男
斉藤 憲二	細田 清
雨宮 年江	谷川 義孝
山村 勝一	柳沢 暢幸

小野 雄造	宮川 章司
金丸 三郎	原田 英行
保坂 一夫	



依田 敏夫	小沢 綱雄	上田 英文
川名 正剛	飯沼 忠	末木 隆義
海野平八郎	福永 稔	桜井 正富
山村 雄二	野中 一二	深沢 芳次

清水 節子

中込 孝文

## 《本庁舎一号館正面入口》

### 甲府市議会インターネット情報

甲府市議会の会議録と議会だよりは、甲府市のホームページでも見ることができます。

URL : <http://www.city.kofu.yamanashi.jp/>

議会、議員、議会だより等に関するご意見、ご質問はこちらにどうぞ。

[gikai@city.kofu.yamanashi.jp](mailto:gikai@city.kofu.yamanashi.jp)

### 議会図書室のご利用を

議会図書室には現在二千冊余りの蔵書があり、市民の皆様にもご利用いただくことができます。  
 政治、経済や甲府市の資料などが収蔵されておりますので、ご希望の方は議会事務局総務課 二三七-一六一 内線四〇〇七までご連絡下さい。